



Tokyo Tech

融合理工学系 3年生オリエンテーション

2020年4月21日

系主任 花岡伸也

カリキュラム担当 山下幸彦

時間割

時間割(学内向けウェブサイト):

<http://www.tse.ens.titech.ac.jp/ja/2020/classtimetable/>

- 2020年度から、200番台で日本語／英語で開講されている必修講義が同時開講となる。2019年度までと開講クォーターが異なるので注意。
- 新型コロナウイルス感染拡大による影響で、通常的时间割から一部変更されている。今後も変更される可能性があるので注意すること。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

倫理教育

- レベル1: 学士課程1年次から学士課程3年次(学士特定課題研究開始前)
- レベル2: 学士課程4年次(学士特定課題研究開始後)から修士課程
- レベル3: 博士後期課程

レベル1は文系教養科目・初年次専門科目等で開講される研究倫理に関する科目の履修を中心に学修を進める。

教養科目

- ◎東工大立志プロジェクト(LAH.C101)
- 科学技術倫理A, 同B, 同C(LAH.T105, T206, T305)
- 科学・技術の最前線(LAS.F101)

専門科目

- 科学・技術の創造プロセス【環境・社会理工学院】(XES.P101)
- 環境・社会理工学院リテラシ(XES.A101)
- ◎研究プロジェクト(TSE.Z381)



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

掲示板

大岡山南6号館南側玄関内

学内向けウェブサイト

<http://www.tse.ens.titech.ac.jp/ja/>

- 融合理工学系所属学生への連絡。
- 時間割の最新情報はこのウェブサイトを確認。
- 発表会等のアナウンス。
- 年間予定。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

新型コロナウイルス対策

- 相談があればアカデミック・アドバイザーに連絡する。
- アカデミック・アドバイザー(主)(副)は、ポータルサイトから確認できる。4月末までに更新予定。

大学からの最新情報は下記リンク先を随時確認
「新型コロナウイルス新入生・在学生向け情報」

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/health/coronavirus.html>



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

1Qと2Qの講義

- 1Q期間中の講義は、Web会議用ソフトウェアZOOMを用いたオンライン授業となる。
 - 原則、自宅で受講する。
 - パーソナルコンピュータ(PC)を用意する。
 - 自宅のブロードバンドインターネット環境を整備する。
 - PCの用意や自宅のインターネット環境の整備が難しい場合、アカデミック・アドバイザーに相談する。
- 2Qも原則としてオンライン授業を継続。
- 大学や融合理工学系からは、OCW-iを用いた講義情報や緊急通知などの情報が、mアドレスに配信される。必要に応じてメールの転送設定をしておくこと。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

研究プロジェクト

- 早期に「研究」に触れる機会を持つことにより、高度専門教育である大学院教育に具体的な興味・関心を持つきっかけとなることを目的。
- 特定課題研究を申請するために履修が必要な科目。
- 1つの学生グループが、**4研究室を順に訪問**する。
 - 訪問する4研究室は、系がランダムに決定する。
 - 3Qに実施する。
- 以下のいずれかの条件を満たす場合、1Qに履修を認める。
(**2020年度に限り2Qで実施**)
 - 早期卒業仮認定者。
 - 3Qに1カ月以上の留学やインターンシップの計画があり、具体的に申請などの活動を行っている。
 - 系に所属してから3年目以降で未履修(前年度不合格の場合を含む)。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

研究室早期所属

- 早期所属
 - 学士特定課題研究を行う研究室に，融合理工学系内の措置として3年生の**12月初旬～中旬**（3Qの研究プロジェクト履修後）に所属する。
 - 早期に所属することで，より深い研究を可能にする。
 - 所属した研究室では，指導教員の指示に従う。
- 対象：次の2つの要件を同時に満たす学生
 1. 学年：3年生以上
 2. 単位：その年の2Qまでに，**62単位以上**を修得していること（卒業総単位数に算入される科目が対象）。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

早期所属決定方法

- 所属可能研究室：
融合理工学系の**主担当および副担当(一部)**の教授・准教授の研究室。
- 配置基準・方法：**成績上位の学生から順番に**所属研究室を選択。
 - 選択時点で所属学生が0名の研究室には、どの学生でも所属できる。
 - 選択時点で所属学生が1名の研究室には、以下の学生が所属できる。
 - 成績が上位1/2以上の場合。
 - 自分より成績下位の学生数が、その時点で所属学生数が0名の研究室数以上の場合。
 - 副担当の研究室は最大所属学生数が1名のため対象外。
- 成績評価には、**その年の2QまでのGPT**を用いる。
ただし、**各自の自己申告**と大学が発行する成績表提出に基づき、**英語開講科目を修得した場合、1単位あたり0.01点をGPTに加算**する(ただし、語学科目および共創基盤群の必修5科目を除く)。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

注意事項

- 3Qに志望研究室の**予備調査を実施**し、公開する。その際、所属可能な研究室を提示する。
- 日本語コース学生とGSEP学生は**独立で所属研究室を決定**。
主担当:各2名,計4名まで, 副担当:計1名まで。
- 早期卒業を申請して仮認定された場合,3年3Q(9月)から研究室所属し,研究室を優先的に選択できる。研究室の所属人数は早期所属先決定時の内数とする(早期卒業で2名所属すると,その研究室には所属できない)。
- 長期海外留学した場合や編入生の場合,早期所属の単位要件の緩和について配慮する。
- 一度早期所属したが,4年3Q時点で学士特定課題研究の申請資格がない場合,研究室の再所属を志願できる。再所属志願が認められた場合,その年の早期所属該当学生の中で,成績に基づいて所属研究室を決める。



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering

学士特定課題研究申請要件

全学共通の要件(学修案内の該当箇所を参照)

例:2018年入学 https://www.titech.ac.jp/guide/guide_30/gakubu1/pdf/19.pdf

に加え,下記の条件を満たしていること。

1. 付表中の科目のうち,系専門必修科目(◎)28単位以上を修得していること。
2. 付表中の科目のうち,研究関連科目の「研究プロジェクト」を修得していること。
3. 付表中の科目のうち,専門科目群から**44単位以上修得していること。**

入学年度の「学士課程学修案内」を参照すること。

学士課程学修案内から「融合理工学系学修課程」をクリック。

<https://www.titech.ac.jp/enrolled/life/resources/>



融合理工学系

Undergraduate Major of
Transdisciplinary Science and Engineering